

長野県埋蔵文化財センター ニュース

みすすずかる

平成 16 年 3 月 22 日 発行

ろっかくもくどう 六角木幢

しゃぐうじ 社宮司遺跡

千曲市八幡に所在し、武水別神社の西側に広がる八幡扇状地にある遺跡です。平成 13・14 年の発掘調査では、平安時代(10 世紀)を中心とする集落跡がみつき、新聞紙上ににぎわせた六角木幢や奈良三彩の小壺など、貴重な遺物が出土しました。

下の写真は六角木幢の柱面に描かれている仏画です。肉眼ではほとんど見られなかったものが、デジタル写真のコンピューター処理によってほんやり浮かびあがってきました。



ろっかくもくどうは仏塔の一種であり、信仰の対象や供養塔であったと考えられます。これまで国内には、石でつくられた石幢が知られていましたが、木製の例は初めてなので、「木幢」と名づけました。炭素年代測定により、平安時代の末期と推定され、国内最古級であることがわかりました。

信濃の仏教史を考える第一級の資料が発見されたと言えます。



2003 遺跡紹介

2003 年度、本センターでは県下各地 24 遺跡の発掘調査を行いました。また、遺跡調査報告書は信濃町川久保・仲町・貫ノ木・照月台遺跡、白田町離山遺跡、南牧村矢出川遺跡の 6 遺跡が刊行されることになります。すべての遺跡を紹介できませんが、それぞれの遺跡はそれぞれの地域の様相を示しつつ、全県・全国的にも評価されるべき貴重な文化財です。

つきおか 中世（15・16 世紀）の屋敷
月岡遺跡跡や経塚などがみつかりました。経塚は遺跡の北西隅の小屋根上にあり、山石で四角に囲ったなかに経文 1 文字



ずつ書いた石を含む多量の川原石を積み上げたものでした。

ちからいしじょうり 弥生時代後期
力石条里遺跡群（約 1,900 年前）の竪穴住居跡 36 軒、井戸跡 3 基や、数多くの土坑（穴）がみつかりました。1 軒の竪穴住居跡からは、炭化した米が出土し、井戸跡の 2 基に木製の井戸枠が残されていました。また、土坑は墓穴が多く、時期は、この地域に稲作がもたらされた弥生時代前期末（約 2400 年前）の墓域と考えられます。



みぶん 今までその存在がまったく
三分遺跡知られていなかった古墳が発見されました。しかし、墳丘も主体部もすでに失われており、周溝（古墳を巡る溝）のみが確認できました。周溝の規模は径 10 数 m 程で、墳丘の外側に置かれていた列石が、土器とともに流れ込んでいました。出土した土器から、この古墳は 7 世紀後半頃築造であることがわかります。



土した土器から、この古墳は 7 世紀後半頃築造であることがわかります。

みねうたいざか 千曲市の西、姨捨の棚
峯謡坂遺跡田の北にあります。尾根の上に広がる遺跡で、古墳時代から平安時代の遺跡です。時期は不明ですが、不整形な穴から長さ 3 cm、幅 2 cm、厚さ 1 cm



の硬玉製（ヒスイ）勾玉が出土しました。さすがにヒスイは白の中に青が広がり、深い輝きがあります。

のびつけ 古墳時代前期末～終末期
野火附遺跡（4～7 世紀）の集落跡です。今年度は 6～7 世紀の竪穴住居跡 21 軒、掘立柱建物跡 8 棟がみつかりました。写真の住居跡は、一辺が約 7.6 m と大きい。うえに、主柱穴のほかに竪穴の壁の中にも等間隔に柱穴が並び、地上にまで壁が立っていたことをうかがわせます。





縄文時代前期～後期（約 6000 ～ 3900 年前）の集落跡で、竪穴住居跡 114 軒、土坑（穴）710 基というたくさんの遺構がみつかりました。土器や石器、装身具も豊富に出土しています。竪穴住居跡の分布をみると、時期ごとの集落の移り変わりがわかります。



ほ場整備された耕作土の下から、畦や溝をとともなう弥生時代以降の水田跡や流路跡がみつかりました。流路には縄文時代中期後葉（約 4600 年前）・弥生時代中期（約 2100 年前）の土器や石斧が流れ込んだり、捨てられたりしており、近くに集落があったことをうかがわせます。



古墳時代後期（7 世紀）と平安時代後期（10 世紀後葉～ 11 世紀）の竪穴住居跡が 4 軒発見されました。遺跡を横切る沢を調査したところ、斜面から炉壁や羽口、鉄滓など製鉄に関係する遺物が捨てられていました。平安時代の集落が鉄生産に関わったことがうかがえます。



土坑（穴）100 基以上と、竪穴状遺構 1 基がみつかりました。土坑の形や深さがまちまちで、陥し穴に使われた 5 基以外は用途がわかりません。出土した遺物は、内耳鍋など中世（15・16 世紀）のものが比較的に付きます。



竪穴住居跡が半円形に一定間隔で並び、その内側に貯蔵穴と思われる土坑（穴）が密集する縄文時代中期（約 4700 年前）の集落跡がみつかりました。その配置と周辺の地形から、集落の中心部から東側を調査したと思われます。また、陥し穴も並んでみつかり、中期以前はこの場所が狩猟場として利用されていたようです。

← 陥し穴には人が入っている

長野県の遺跡発掘 2003

開催のお知らせ

あんずの花が咲く頃は、歴史館での速報展。
今年は夏に南信の伊那文化会館でも巡回公
開いたします。お出かけください。

開催中

2004 3/13 (土) — 5/9 (日)

長野県立歴史館

[休館日 3月15・22・29日、4月26日、5月6日]

2004 7/1 (木) — 7/11 (日)

長野県伊那文化会館

[休館日 7月5・6日]

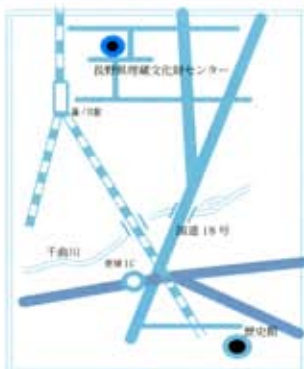
あんずの里 千曲市森

畛

寒さ厳しい信州も春の陽射しが差し込んでくるようになりました。冬期の整理作業では一片一片の土器への注記から、土器の接合・復元、図面記録、写真記録の整理などに取り組んできました。これまでに
ご協力いただいた関係者の方々をはじめ、県民の皆さんに厚くお礼申し上げます。さて、この文化財が公開展示される速報展が開催されています。この機会に、大勢の方の目に焼き付け保存をしていただければありがたいです。

(小林調査研究員)

管理部門移動のお知らせ
当センター管理部門は、長野県立歴史館内において業務を行ってまいりましたが、平成十六年四月より、調査部が移転いたします。よろしくお願いいたします。



催し物

◇講演会

春成秀爾 国立歴史民俗博物館教授

「考古学における年代決定の最前線」

◇日時：4月11日(日) 13:00～14:30

◇会場：長野県立歴史館 講堂

◇調査報告会

長野県立歴史館会場

◇日時：4月11日(日) 10:30～12:15

◇会場：長野県立歴史館 講堂

◇報告遺跡

- | | |
|------------|-----------|
| 1 信濃町貫ノ木遺跡 | 2 坂北村東畑遺跡 |
| 3 箕輪町箕輪遺跡 | 4 中野市月岡遺跡 |
| 5 千曲市社宮司遺跡 | |

長野県伊那文化会館会場

◇日時：7月10日(土) 10:30～12:00

◇会場：長野県伊那文化会館 小ホール

◇報告遺跡

- | | |
|-------------|------------|
| 1 飯田市竹佐中原遺跡 | 2 信濃町貫ノ木遺跡 |
| 3 茅野市聖石遺跡 | 4 箕輪町箕輪遺跡 |
| 5 千曲市社宮司遺跡 | |

(財)長野県文化振興事業団 長野県埋蔵文化財センター

篠ノ井整理棟(調査部)

〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田 963-4

TEL 026-293-5926 FAX 026-293-8157

E-mail maibun@avis.ne.jp

長野県立歴史館内(管理部)

〒387-0007 千曲市屋代清水 260-6

TEL 026-274-3891 FAX 026-274-3892